

# 日本政治史を通じて考える 政治と政治学

担当  
佐々木雄一



准教授

## <プロフィール>

1987年、東京都生まれ。

東京大学法学部卒業。  
同大学院法学政治学研究科博士課程修了。博士（法学）。  
首都大学東京（現東京都立大学）  
助教等を経て現職。

専門は日本政治外交史。  
特に陸奥宗光や日清戦争の研究で知られる。

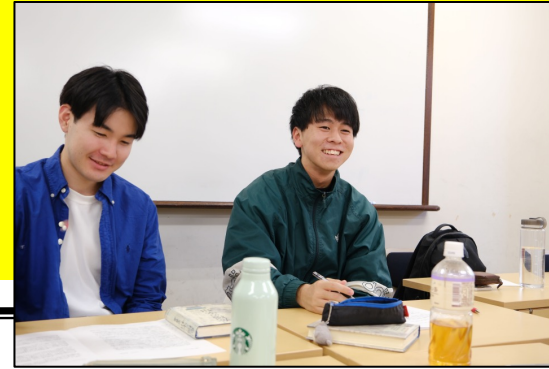
## <主著>

- ・『帝国日本の外交 1894-1922』（東京大学出版会）
- ・『陸奥宗光』（中公新書）
- ・『リーダーたちの日清戦争』（吉川弘文館）
- ・『近代日本外交史』（中公新書）

## <担当教科>

- ・日本政治史A・B
- ・現代政治理論1A・2B
- ・政治史2A・2B

佐々木ゼミ  
ゼミ生の声



このゼミは読む・話す・聞く。

佐々木ゼミでは、主に「政治とメディア」について学んでいます！毎週指定の書籍を一冊読み、A4 1枚のペーパーを書きます。そのため、佐々木ゼミでは沢山の本を読むことができます。ペーパーを発表し、グループで議論を行うことでより理解を深めることができます。みんな自分の意見や疑問点等積極的に発言するため、毎週活発な議論が行えます！

また、グループでプレゼンテーションを行うこともあります。3・4年生合同のグループで行うことが多いため、先輩方との縦の繋がりもあります。プレゼンテーションでは様々なテーマを取り扱います。



# 佐々木ゼミでの学び



## <プレゼンテーション>

ペーパーによる議論の他にも、4~5人のグループでプレゼンを行う機会もあります！

## テーマ例

- ・政治学科の入学希望者を増やすためにはどうすべきか？
- ・「北欧」「台湾」「消費税」などの言葉が、言論空間のなかでどのように語れてきたか。

などなど



## <ゼミ生からみた佐々木先生>

・凄く丁寧な先生です。興味のある分野について質問すると、関連書籍を紹介してくれることもあります。

・基礎ゼミの時より、3年ゼミの方がゼミ生の議論をそのままの議論として尊重してくれる印象があります。

・ゼミのスケジュールを、早めに予告してくれるのでありがたいです。

・授業と同じで基本誰に対しても敬語ですが、オフなシーンでタメ口っぽくなるのところが好きです。

・囲碁が大好き。プロ野球も詳しい。



## <23年度にゼミで読んだ書籍>

### <メディア関連>

- ・逢坂巖『日本政治とメディア』（中公新書）
- ・西田亮介『メディアと自民党』（角川新書）
- ・高木徹『国際メディア情報戦』（講談社現代新書）
- ・藤代裕之『ネットメディア覇権戦争』（光文社新書）
- ・山口真一『正義を振りかざす「極端な人」の正体』（光文社新書）
- ・朝井リョウ『スター』（朝日文庫）
- ・北岡伸一『清沢潤』（中公新書）
- ・佐々木俊尚『2011年 新聞・テレビ消滅』（文春新書）
- ・東浩紀『ゲンロン戦記』（中公新書ラクレ）

### <その他>

- ・前田健太郎『女性のいない民主主義』（岩波新書）
- ・筒井清忠『昭和戦前期の政党政治』（ちくま新書）
- ・沢木耕太郎『危機の宰相』（文春文庫）
- ・成田悠輔『22世紀の民主主義』（SB新書）

などなど





### 👍佐々木ゼミの良いところ

#### ①読解力・文章力が身につくところ

→毎週文献を読み、隔週でペーパーを書くので読むこと・書くことへの抵抗感がなくなります！

#### ②毎週のディスカッションにより、議論する力が付くところ

#### ③ゼミ生同士の仲が良いところ

→ゼミ後にみんなでご飯に行ったり、休講の日にボーリングに行ったりしました！

#### ④文献購読型なので、前提知識なく議論できるところ



# の性格 佐々木ゼミ

💡こんな人に向いています！

- ・政治学に興味がある。
- ・メディアに興味がある。
- ・まだ何に興味があるのか定まっていない。
- ・本を読む習慣を付けたい。
- ・作文力・対話力を身に付けたい。
- ・共感力・論理的思考力を身に付けたい。
- ・佐々木先生のが好き。
- ・佐々木先生の講義が好き。
- ・ゼミ生同士仲良くしたい。



＜現役ゼミ生から、検討中の皆さんへ＞

・メリハリのある大学生活を送りたい方大歓迎。

性格は穏やかでも、議論中は緊張感を欠かさないメンバーが佐々木ゼミには揃っています。油断している場合ではありません。まず意見を持つ、そしてそれを整理し伝えるという能力を磨くことができます。あなたの考えを、先生や仲間に遠慮なくぶつけてみましょう！